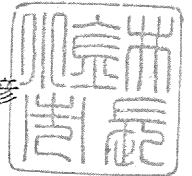


小企企発第76号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

小金井市長 稲葉孝彦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の件について、別紙のとおり回答します。

1 今後の道路政策や道路の整備・管理について

小金井市では、市域を東西に横断する線路敷が「まち」を分断しています。このため、JR中央本線連続立体交差化事業が平成7年11月に事業認可され、現在事業が進められているところです。

当市では、この連続立体交差化事業に併せ、武蔵小金井駅南口市街地再開発事業や東小金井駅北口土地区画整理事業を推進しており、都市計画道路の整備と併せ長年の懸案であった面的整備事業を通じて、「まち」が大きく変わろうとしています。

これらの事業の完遂には、多額の資金を必要とすることは言うまでもなく、市町村単独で当該事業の財源を確保することは、不可能といっても過言ではありません。中でも道路特定財源を原資とする各種の補助金や交付金などによる財政支援は、都市基盤整備事業を行う市町村の財政運営を大きく左右することから、広域行政である道路政策の一環として、引き続き従前のとおり措置をお願いします。

2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

平成17年、わが国の人口はついに減少局面へ突入し、今後も少子高齢社会は進行していくものと見込まれています。こうした中、日本人の人口の約半数は三大都市圏に居住しており、この圏域を優先して整備することは、事業実施による利益がより多くの市民に還元されることとなります。道路政策の効率化を進める上では、当該事業の完成による費用対効果を見極めつつ、真に必要とされる事業を優先すべきです。特に、多摩地域は400万人を超える人口を擁し、埼玉県や神奈川県との交通結節点ともなる地域であり、道路政策の充実による効果は、他の地域に比べ投資効果は著しく高いものと考えられます。したがって、道路政策の効率化を進める上では、事業効果における人口比などを勘案し、多摩地域を優先して整備されるようお願いいたします。

3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路政策の充実には、単なる「交通の円滑化」にとどまらず、災害時における緊急通路の確保や自動車旅行速度の向上による温室効果ガス等の大幅な削減、無電柱化による歩行者の安全性の確保など、他の政策とも密接に関連した投資効果の高い事業です。しかしながら、事業の完遂には巨額の財源を必要とすることも事実であり、道路網の整備などについては、事業完成による費用対効果を見極め、「選択と集中」の徹底を図りつつ、コスト削減などを進めるとともに、市民・国民にとってわかりやすい制度改革を進める必要があります。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

○現状	○課題
○ 現状 小金井市は、都心から約25km 西方に位置し、東西4.1km、南北4.0kmで、面積は11.33km²のほぼ方形の都市です。その市の中央を、JR中央本線が東西に通じ、市を分断している状況にあります。そのため、市内の南北交通が阻害され、地域の一体感が損なわれています。 ○ 現状 小金井市の財政状況は、過去に人件費比率全国第1位、経常収支比率全国ワースト第1位など、危機的状況にありました。その後の行財政改革等により、平成19年度の多摩地区の26市比較では、人件費比率ではまだ下位ですが、経常収支比率は中位まで改善を遂げました。	○ 課題 現在、JR中央本線の三鷹、立川間の連続立体高架化事業が進められており、平成19年7月には下り線の高架化が完成しましたが、上り線及び高架下工事などはまだ時間がかかると思われます。今後も、東京都及びJRのより一層の事業の推進により、高架化工事の早期の完成が求められます。 ○ 課題 財政状況は行財政改革等により、一定の改善は見受けられますが、今後の少子高齢化、中央本線高架化事業に伴う駅周辺のまちづくりごみ焼却施設の建設等課題が山積みとなっております。また、行財政改革は道半ばの状態であり、今後も国や東京都のより一層の財政支援が必要です。

小金井市の将来像としては、小金井市長期総合計画第3次基本構想（平成13年11月策定）に、「元気です 萌えるみどりの小金井市」と位置づけ、豊かなみどりと水に恵まれたうるおいのある都市環境としております。

それを踏まえた整備方針は、道路は交通機能のほか、上下水道等の施設を収容し、また、防災機能をもったオープン・スペースとして多目的な機能を有しており、まちづくりの基幹としております。

JR中央本線の連続立体高架化事業の完成にあわせ、円滑な交通が阻害されている南北道路を整備し、安全な交通を確保します。

主要な道路は、できる限り歩道を設け、植栽帯を増やすなどして、安全と環境の向上を図り、だれもが安心して快適に利用できるよ
バリアフリー化を進めます。

その他の生活道路では、順次、改修を行うとともに交通安全施設の整備、通過交通の規制、放置自転車の解消などに努め、居住環境
の向上を図ります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

東京都小金井市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
(例) ・地域活力の向上	武蔵小金井駅南口市街地再開発事業 (施工者 都市再生機構)	武蔵小金井駅南口は、バスも入れないような狭い駅前広場しかなく、道路も狭隘で建物も老朽化している地区です。再開発事業により、駅前広場や都市計画道路等の都市基盤整備にあわせ、商業、業務及び住宅との調和のとれた複合的中心市街地として整備し、小金井市の玄関口にふさわしいまいります。	
	東小金井駅北口土地区画整理事業 (施工者 小金井市)	東小金井駅周辺は、東小金井駅貨物駅跡地等の低未利用地が存在するなど、JR中央本線の沿線の中でも特に街づくりが遅れている地区です。そのため、駅北口の土地区画整理事業を推進し、駅前広場、都市計画道路等の整備を行い、商業・業務・文化施設の導入を行い、市の東部地区の中心として整備します。	